佐賀県武雄市がハザードマップを改訂
九州で初めてウェブ版マップがやさしい日本語に対応

令和3年4月、佐賀県武雄市は、国が浸水想定区域、県が土砂災害特別警戒区域を見直したことに伴い、11年ぶりにハザードマップを改訂しました。市民に風水害や地震に関する情報を提供し、災害の備えに役立ててもらうことを目的としています。

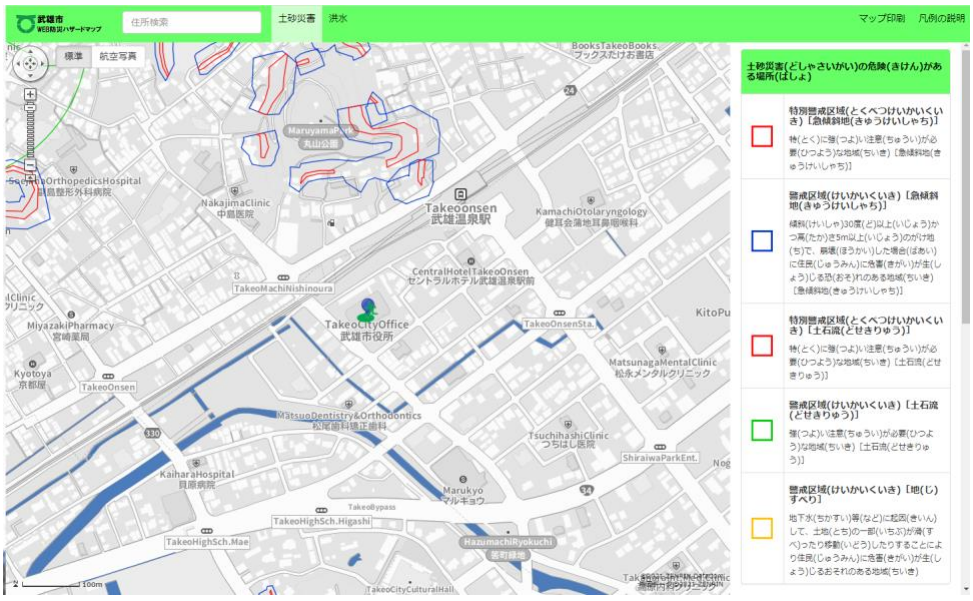
ハザードマップはB1判で作成され、市内を34区域に分け、各戸が分かるように縮尺は5,000分の１とし、豪雨時の浸水や土砂災害の警戒区域を示しています。ハザードマップの裏面は、自分が住んでいる町全体の状況が分かるような縮尺になっています。避難所一覧や非常時の持ち出し品リスト、災害に関する情報などについての冊子「たけおしぼうさい」とともに制作され、全世帯に配布されました。

また、ＧＰＳ（衛星利用測位システム）と連動させ、浸水想定などがすぐ分かるウェブ版も作成しました。ウェブ版のマップは、日本語、英語の他、九州で初めて「やさしい日本語にも対応しています。土砂災害などの危険がある場所については、「特別警戒区域（とくべつけいかいくいき）『急傾斜地（きゅうけいしゃち）』」などふりがなを振り、さらに「特（とく）に強（つよ）い注意（ちゅうい）が必要（ひつよう）な地域（ちいき）［急傾斜地（きゅうけいしゃち）」と詳しく用語説明もしています。

ハザードマップの改定について、武雄市の担当者は「この防災ハザードマップは、土砂災害や浸水害の危険箇所、避難所などをはじめ、さまざまな災害に対する知識と備えをまとめています。市民の皆さんに災害から身を守ることについて話し合う機会や、自主防災組織などの活動の際にぜひ役立てて欲しい。今後も、市民の皆様と行政が連携・協力し『災害に強いまちづくり』の実現に向けて、全力をあげて取り組みたい。」と話しています。

※WEBハザードマップ（日本語版、英語版、やさしい日本語版）は、以下のURLから見ることができます。

ＵＲＬ：http://www.city.takeo.lg.jp/benri/anzen/010013.html



問い合わせ先

佐賀県武雄市役所総務部防災・減災課
電話：0954-23-9223　Email：anzen@city.takeo.lg.jp